

わたしたちを守る、
わたしたちが守る、

地 域 医 療



No.187

市地域医療対策室 ☎ 31-0213

3月9日

県立石見高等看護学院の卒業生・合格者と 市長との意見交換会を開催しました！

益田市出身で令和7年度県立石見高等看護学院地域推薦の卒業生が、市長と意見交換をしました。

卒業生の皆さんは「実習や国家試験の勉強が大変だったが、先輩や友達、家族など周りにアドバイスをもらいながら頑張れた」と学生生活を振り返り、卒業後については「3年間学んだことを活かして、患者さんに寄り添って地域に貢献していきたい」と一人ひとりが活き活きと話し、逞しさを感じました。

卒業した学生のうち、1名は助産師を目指して、さらに知識をつけるため進学し、11名は4月から看護師として市内の病院に勤務しています。



また、同日、県立石見高等看護学院に地域推薦入試で合格した学生が市長と意見交換をしました。合格者の皆さんからは「毎日しっかり勉強し、患者さんに寄り添える看護師を目指して頑張りたい」「地域の人と交流しながらコミュニケーション力をつけたい」など、今後の抱負を聞くことができました。

市長は卒業生・合格者に向けて「楽しみや不安が同時にあると思うが、体に気をつけて充実した新生活を送ってほしい」と激励の言葉を贈りました。

みんなで知って、みんなで守ろう！ **益田の医療**

2026年6月6日 **土** 14:30～16:00

会場：益田駅前ビル EAGA 3F 益田市立保健センター大ホール

【定時総会 記念講演】

◎演題：『守られる医療からともに育てる医療へ～私たちの役割～』

講師：津和野共存病院副院長/津和野町コミュニティドクター

いい じま けん いち
飯 島 献 一 先生

<講師プロフィール>

1989年（平成元年）島根医科大学 卒業

1991年に津和野共存病院へ着任して以来、長年にわたり地域の診療と真摯に向き合い続ける。島根大学での教育・研究経験を経て、2008年より現職。2021年からは「津和野町コミュニティドクター」（地域を丸ごと診る医師）として、病院の中だけでなく地域全体で命を支える仕組みづくりに取り組んでいる。自らのがん闘病経験を糧に、患者・医師両方の視点から語る言葉は、多くの人々の共感を呼んでいる。



この記念講演はどなたでも参加できます。お誘いあわせの上、ご来場ください。

*立体駐車場をご利用の場合は「無料精算処理」をしますので、駐車券を会場へご持参ください。

主催：益田の医療を守る市民の会 / 共催：益田市